

平成26年度千葉市芸術文化振興事業補助金 事業実施報告について

1 市民参加事業

申請事業数6事業、採択事業数2事業

(1)

行 事 名	第1回 千葉市応援歌踊祭
日 時	平成26年9月29日(月) 10時30分～16時15分
会 場	千葉市民会館小ホール(定員316名)
主 催 団 体	特定非営利活動法人 歌友クラブ
補 助 金 額	200,000円
事 業 概 要	千葉市応援歌(団体自主制作:「千葉いちばん音頭」「千葉千年伝説」など)を参加者全員で歌い踊る「歌踊祭」を開催。午前中に歌と踊りの練習を行い、午後から実演を行った他、舞踊師範による演舞やシャンソン歌手による歌唱等の鑑賞会も行われた。入場料無料(別途、歌詞集を300円で販売)。
事 業 実 績	出演者10名(歌友クラブ役員、舞踊師範等)、一般参加者120名
主 催 者 感 想 等	<ul style="list-style-type: none"> ・市の応援歌を市民が作り、それを新しい郷土芸能として市民の力で発表するという、今回の事業目的は概ね達成できた。 ・当初考えていた出演者からの協力が得られず、出演者の確保に苦労した。また、裏方スタッフの確保、育成の難しさを実感した。 ・平日開催であったため、子どもや若者の参加がなかったことから、今後は土日開催にするなど、子どもや若者も含めた幅広い市民参加を進めたい。また、「歌踊祭」から「芸能祭」へと広げて、千葉市の観光価値となるような行事へと発展させていきたい。
視 察 所 見 等	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね事業計画書どおりに事業実施がされていたが、計画上300名の参加者を見込んでいたものの、実際には120名程度の参加者であった。参加者は高齢者が中心で、男女比は半々程度。 ・スタッフには会員数名の他、市内の大学生など若い人の参加も見られた。 ・歌は年配の方が知っているような曲を替え歌にしていた。 ・事前にスタッフ間での段取り確認が不足していたようで、当日は団体の代表が1人で行事を仕切っていた。 ・踊りの練習方法が、師範が曲に合わせて踊る姿を見て覚えるのみであったため、初参加者は苦労をしていた。教え方の改善が必要と感じた。



(2)

行 事 名	おゆみ野文化祭
日 時	平成26年11月23日(日)、24日(月・祝) 10時00分～17時00分
会 場	鎌取コミュニティセンター及びその周辺
主 催 団 体	アートタウンおゆみ野
補 助 金 額	200,000円
事 業 概 要	地域住民ボランティアによる「文化祭」として、様々な文化イベント(合唱や吹奏楽、器楽ステージ、陶芸や手芸、書など800点以上の展示ギャラリーなど)を開催。音楽イベントへの出演者は公募し、また、ギャラリーでは様々なアート体験コーナーを設けた。
事 業 実 績	出演(出展)者800名、来場者3,000名
主催者感想等	<ul style="list-style-type: none">・補助金を活用したことで、これまでで最大規模の事業が開催でき、参加者・来場者も例年の倍以上集まった。・新しい企画も概ね好評で、例年を上回る質の高い出品や発表もあった。・近隣の大学や専門学校などとの連携も実現し、おゆみ野地区を中心としながらも、文化祭を通じてより広い範囲での人の繋がりが生まれた。・課題は収入面で、今後も協賛金を増やす努力をしていきたい。・今後の継続・発展を目指すため、組織強化に力を入れながら、文化祭を通して地域の大人が子どもを育てていく、という雰囲気作りをしていきたい。
視 察 所 見 等	<ul style="list-style-type: none">・事業計画書どおりの事業実施がされており、出演者及び来場者は子どもから年配の方まで幅広い年代が見られた。男女比も半々程度。・オープニングセレモニーには、約150名の来場があった。・地域の文化イベントとして根付いており、来場者の多くが出演者・展示者との交流しながら、音楽や芸術を楽しんでいる様子が伺えた。・アート体験コーナーでは、切り絵や水彩画、ビーズ工芸などがあり、スタッフの指導を受けながら、来場した多くの子どもたちが体験をしていた。・ライブの司会を地元の学生が行うなど、子ども達が事業の色々な場面に関わっていた。・会場スタッフは全て地元住民が担っており、事業運営や来場者への対応もスムーズに行われていた。



2 市民育成事業

申請事業数 1 事業、採択事業数 1 事業

行 事 名	千葉ジュニアオペラ学校 2014
日 時	平成26年8月22日(金)～10月13日(月・祝) 【鑑賞「泣いた赤鬼」8月9日(土)】 【公演「道化師」10月5日(日)、11日(土)、13日(月・祝)】
会 場	【講義】海浜打瀬小学校、風の丘HALL 【鑑賞：「泣いた赤鬼」】花園中学校体育館、海浜打瀬小学校体育館 【練習・公演：「道化師」】風の丘HALL
主 催 団 体	小空間オペラ TRIADE
補 助 金 額	300,000円
事 業 概 要	一般公募による児童生徒(小・中学生)が、オペラのプロ・専門家による講義の受講、オペラ鑑賞(泣いた赤鬼)、舞台練習を経て、オペラへ出演した。(演目：「道化師」。オペラにはプロと音大生も出演。)27年度以降も市内で同様の事業を展開する。(27年度芸術文化振興事業補助金内定)
事 業 実 績	出演者51名(うち児童生徒10名)、授業・練習のみ参加の児童生徒9名 観客動員269名 【内訳】(泣いた赤鬼)106名、(道化師)163名
主催者感想等	・オペラという敷居の高さを下げるため、広報や事業内容に様々な工夫をしながら集客に努めたが、それでも市民のハードル感は高いように感じられ、希望の参加者数へ至らなかった。来年度は更に広報に力を入れながら、育成面での質も上げていきたい。
視 察 所 見 等	【オペラ講義、練習に関して】 ・講師やスタッフの子ども達への対応が上手く、飽きさせないようにコミュニケーションを取りながら進めており、楽しみながら練習に励んでいた。 ・子ども達へオペラの時代背景や内容を分かり易く伝えながら、自分たちで考えさせる機会も作るなど、一方的な講義ではない点に好感が持てた。 ・家庭への連絡ノートを作成するなど、保護者にも子どもたちがどのような講義や練習を受けたのかが分かるような工夫がされていた。 【オペラ公演に関して】 ・来場者の年齢層は幅広く、男女比も半々程度であった。客席75のうち、約7割程度が埋まっていた。 ・子ども達の出演は、第1部のオペラ冒頭の数分と、第2部で「好きさ好きさ」「花は咲く」の2曲を合唱した。出番後は、会場内の観客席でオペラ鑑賞をしていた。 【その他】 ・参加した児童生徒及び保護者へのアンケートでは、「貴重な体験が出来た」「次回も参加したい」と概ね好評を得ており、事業継続を望む声も多数みられていた。

○練習の様子



○公演の様子



3 市民参加特別事業

申請事業数1事業、採択事業数1事業

行 事 名	千葉県音楽協会創設60周年記念「おんきょうオペラ祭り」
日 時	平成26年9月27日(土) 18時30分～21時00分 " 28日(日) 14時00分～16時30分
会 場	市民会館大ホール(定員924名)
主 催 団 体	千葉県音楽協会
補 助 金 額	1,500,000円
事 業 概 要	一般公募による市民がソリスト、合唱団として参加した市民主体のオペラを開催(ソリスト16名、合唱団60名) 第1部 オペラガラ・コンサート 第2部 マスカーニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」第1幕 (原語公演・字幕付き)
事 業 実 績	出演者120名(うち、一般参加者60名)、観客数1,250名
主 催 者 感 想 等	<ul style="list-style-type: none">・多くの市民がオペラに出演し、見込んでいた程度の来場者もあったため、「音楽文化を広める」という行事目的は達成できた。・課題は、運営スタッフの人材確保と協賛企業を増やすこと。・来場者アンケートでは、「良質なオペラを廉価で鑑賞できて良かった」との声が多かったため、今回の成功を基に、市民によるオペラを3年に1度は継続して開催をしていきたい。
視 察 所 見 等	<ul style="list-style-type: none">・事業計画書どおりの事業実施がされており、来場者の年齢層は中高年が中心で、男女比は半々であった。1回目の夜公演は客席の半分程度の観客であったが、2回目の昼公演はほぼ満席となっていた。・会場スタッフの観客への対応等はスムーズで、遅れてきた観客の案内も丁寧だった。・歌や物語の背景についてプログラムに記載されており、また原語上演であったが、字幕付きでの上演であったため、初心者に者にも分かり易かった。・プロと公募の一般市民の配置バランスが良く、「市民参加型のオペラ」という印象を受けた。